

# 緑光

RYOKKOU

No.70 2016年3月



プレス工業株式会社藤沢工場

ミネベア株式会社藤沢工場

# M<sup>ごあいさつ</sup>essage

藤沢市工場等環境緑化推進協議会

伊勢田 茂

NOK 株式会社 藤沢事業場

春暖の候、会員事業所の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また当協議会の平成27年度事業活動においては、皆様のご協力により無事終了できましたこと、日頃から藤沢市の緑化や花いっぱい運動にご尽力を賜りましたことを、この紙面をお借りして御礼申し上げます。



この1年間を振り返りますと、うれしいニュースとして藤沢市ではなんとと言っても江の島が東京2020オリンピック・セーリング競技会場に決定と、さがみ縦貫道路が全線開通したことはないでしょうか。神奈川県ではラグビーワールドカップ2019の開催都市に神奈川県横浜市が決定と、東海大学付属相模高等学校が45年ぶりに夏の甲子園で優勝したことはないでしょうか。反面、箱根大涌谷の火山活動の活発化や痛ましい出来事もありました。心からお見舞い申し上げます。自然の力は確かに限りなく大きいです。十分な警戒と備えが必要であることを改めて痛感させられることになりました。

さて「藤沢市工場等環境緑化推進協議会」は工場や事業所の緑化は、仕事環境さらには地域環境との融和を図ることを重要として、「緑化技術講習会」「視察見学会」「全体役員会」「ブロック会議」「緑化推進・情報発信の機関誌発行」等の実施、藤沢市みどりいっぱい市民の会・藤沢市と三位一体での「緑と花いっぱい推進の集い」などを開催して、緑化意識の普及・向上・啓発に努めております。

緑あふれるまちづくりを目指して、これらの事業を長く続けてこられたのは皆様方のご理解・ご協力が大きいと感謝しております。今後も藤沢市の緑化事業において、当協議会に求められている役割を果たすべく、協議会運営を継続していきたいと考えておりますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 第42回総会

General meeting



藤沢市工場等環境緑化推進協議会の第42回総会を平成27年4月16日(木)、湘南クリスタルホテルにて開催いたしました。当日は会長の挨拶のあと、来賓の鈴木恒夫藤沢市長、「藤沢市みどりいっぱい市民の会」相原厚志会長からご祝辞をいただき、議事に入りました。平成26年度の事業報告・決算報告・監査報告の承認のあと、平成27年度役員の変更・事業計画及び収支予算などについて承認され、無事に審議を終えることができました。

総会終了後には懇親会を開催し、会社紹介や自己紹介に始まり、様々な情報交換を行なって和やかな時間を過ごしました。

(事務局 記)

## ●平成27年度事業報告

事業	内容	実施日・場所
総会	第42回総会	4/16(木) 湘南クリスタルホテル
役員会	全体役員会	1/28(木) 湘南NDビル8階8-1会議室 3/3(木) 湘南NDビル8階8-1会議室
ブロック会議	ブロックごとの座談会	12/17(木) 湘南NDビル6階6-1会議室
緑化技術講習会	植木屋さんに教わる樹木の手入れ実践講座	7/22(水) 長久保公園都市緑化植物園
機関誌発行	「緑光」No.70号	3月末
視察見学会	庭園敷地内の屋上緑化・壁面緑化の見学	9/10(木) 目黒天空庭園
第34回藤沢市 緑と花いっぱい 推進の集い記念事業 グリーンキャンペーン	藤沢市みどりいっぱい市民の会・藤沢市・ 当協議会の共催による花苗・苗木の配布と みどり基金の募金活動	10/17(土) 辻堂駅北口ペDESTリアンデッキ
第34回藤沢市 緑と花いっぱい 推進の集い	藤沢市みどりいっぱい市民の会・ 藤沢市・当協議会の共催による 緑化推進大会	11/14(土) 藤沢市民会館大ホール
湘南グリーン コネクション2015 (※緑化技術講習会講義部門)	(公財)かながわトラストみどり財団 湘南地区推進協議会の主催による 緑化推進のための講義	9/29(火) 寒川町民センター

## ●平成27年度 藤沢市工場等環境緑化推進協議会役員

平成27.4～平成28.3

役職	事業所名	ブロック	代表者	担当者	事業担当	
会長	NOK(株)藤沢事業場	B	長澤 晋治	伊勢田 茂	かながわトラスト	
副会長	いすゞライネックス(株)藤沢事業所	A	三瀧 義弘	佐藤 博之	ブロック	かながわトラスト
副会長	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	C	長谷川 章	蛭川 正幸	集い	機関誌
会計監査	ミネベア(株)藤沢工場	C	浅川 英男	長谷川拓夫	講習	機関誌
会計監査	シロキ工業(株)藤沢工場	A	点頭 秀行	秋間 知幸	視察	集い
会計	(株)荏原製作所藤沢事業所	B	白樫 充彦	大羽 宏	機関誌	集い
幹事	東京ラヂエーター製造(株)	A	林 隆司	山路 秀樹	視察	ブロック
	オイレス工業(株)藤沢事業場	A	内田 隆彦	泉谷 忠幸	講習	機関誌
	いすゞ自動車(株)藤沢工場	A	安室 幸夫	近藤 光吉	視察	機関誌
	AKS東日本(株)	A	重松 拓也	長谷川裕一	視察	ブロック
	プレス工業(株)藤沢工場	A	小川 敏宏	杉山 弘之	機関誌	講習
	ナショナル・ベンディング(株)湘南第一営業所	A	藤山雄一郎	小林 洋喬	集い	講習
	日本精工(株)藤沢工場	B	小木曾文雄	平澤 建夫	集い	ブロック
	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場	B	柳澤 敏哉	宮原 秀夫	視察	ブロック
	アズビル(株)藤沢テクノセンター	C	斧原 昭良	中野 隆行	機関誌	講習
	東レ(株)基礎研究センター	C	伊関 克彦	篠原 大輝	視察	講習
池上通信機(株)システムセンター	C	宮内 博紀	小野寺純一	集い	ブロック	

事務局	藤沢市役所みどり保全課
-----	-------------

集い…………… 推進の集い

視察…………… 視察見学会

機関誌…………… 機関誌発行

講習…………… 緑化技術講習会

ブロック…………… ブロック会議

かながわトラスト… (公財)かながわトラストみどり財団湘南地区推進協議会



## 緑化技術講習会

Greening technology course

梅雨が明け大変日差しの強い平成27年7月22日(水)、藤沢市緑化事業協同組合の会員様を講師にお招きし、当協議会会員企業10事業所15名と事務局が参加し長久保公園で緑化技術講習会を開催いたしました。

講習会は前半の座学が30分、後半の実習が90分の2部構成で企画されました。

座学では【樹木管理に関する基本知識】と題して2階研修室でおこなわれ、植木屋さん目線の社会と緑地の移り変わりについて説明がありました。

- 1970年代 敷地境界の緑地
- 1980年代 景観、街並み
- 1990年代 ビオトープ
- 2000年代 屋上緑化、壁面緑化

現在はこれまで育てた緑をどうしていくかが課題とのことです。

また、樹木の剪定時期については、樹木休眠期間(冬)に剪定するのが望ましいが、街路樹等は障害となつてから剪定するため時期を選ぶことができない。必要な時期に最少のダメージで剪定することが求められる。植木屋さんの本音を聞いた気がしました。

次に実習では【樹木剪定技術実習】と題して、長久保公園敷地内の樹木を観察しながら剪定の良し悪しについて説明を受ました。また、実際に剪定バサミでツツジの刈込作業をおこない、剪定は芸術的に形が整っていくため楽しいが、切った枝や葉っぱを片付けるのが大変と感じました。

今回の参加者は、例年と異なり各企業で実際に樹木の剪定などに従事される方々が多かったように感じました。質問も活発におこなわれ大変有意義な講習会になったと思います。

最後に植木屋さん目線で解りやすい説明をしていただきました藤沢市緑化事業協同組合の会員様、講習会開催にご尽力いただきました事務局に対してお礼を申し上げます。

(オイレス工業株式会社 泉谷 記)



## グリーンコネクション

Green connection

平成27年9月29日(火)寒川町民センターにて湘南グリーンコネクション2015が開催されました。

講演内容は〈講演1〉植物の病害虫～農薬の散布は・・・～(講師:及川清明氏)と〈講演2〉神奈川県内の帰化植物～湘南地域の事情～(講師:田中徳久氏)でした。〈講演1〉では実際に病気にかかっている植物の枝や茎などを教材とし、それらに対する防除策をご説明いただきました。〈講演2〉では神奈川県内で確認されている帰化植物(帰化植物:海外から持ち込まれ日本において繁殖した植物)について、湘南地区の植生を踏まえ、今後どう向き合うべきかをご説明いただきました。参加者には各市町村にて地域緑化に関心の高い方や実際に携わっている方も多く、今後の湘南地区のみどり保全に有意義な講演となりました。(事務局 記)





## 視察見学会

Inspection excursion



台風18号から変わった低気圧の影響で、大雨が降り続いていたので延期の可能性がありますでしたが、平成27年9月10日(木)、当協議会会員9社(9名+事務局3名)で「目黒天空庭園」の視察見学会を実施いたしました。今回も、いすゞ自動車様に社用バスを御用立てて頂き、快適で安全・安心な道になりました事、心より御礼申し上げます。

車中では小雨が降っていましたが「目黒天空庭園」に到着したときには傘が要らないほどでした。出迎えて頂いた目黒区都市整備部の前田係長から「目黒天空庭園」は総面積7,000㎡、高低差約24メートル、平均勾配6パーセントの大橋ジャンクションのループ屋上という立地条件下で設計・施工が行われ、全国初のジャンクション屋上の公園であると説明を頂きました。「新たな都市緑地の創出」というテーマで約1時間の講義を受けました。その中で、集大成として天空庭園栽培ガーデニングでブドウを収穫し、ワインが作られている話をお聞きしました。夢ひろばの有効活用として、フットサルでスポーツ交流を実施し、夢のある運営をしていました。さらに、ペットお散歩登録証を発行して、ルールやマナー向上を行っていました。

講義後に、庭園内を歩きながらビル9階の高さの「憩い・交流の場」、「散歩・くつろぎの場」、ビル5階の高さの「憩い・交流の場」、「オーパス夢ひろば」を見学しました。庭園は自動車の排ガスも届かない高さなので、その空気は高原のような爽やかさがありました。

天空庭園の隣にはマンションがあり、晴れた休日には庭園内で食事をしたり、散歩したりと憩いの場となっています。このように素晴らしい天空庭園が近くにあるのを羨ましいと思いつつながら帰路につきました。

(株式会社ヤクルト本社湘南化粧品工場 宮原 記)



## ブロック会議

Block conference

平成27年度のブロック会議は平成27年12月17日(木)湘南NDビル6階6-1会議室で行なわれました。

議事は本年度の事業経過報告、予算執行状況、役員改選等についてで、出席した会員が3ブロック(事業所の所在地がA:市内北部、B:市内中部、C:市内南部にある計3ブロック)に分かれ、各ブロックの意見交換が行なわれました。意見交換後には討議内容を各ブロックの代表者が発表し、次年度の各事業に反映することとしました。

(事務局 記)



## グリーンキャンペーン

平成27年10月17日(土)



第34回藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの開催を記念し、辻堂駅北口ペDESTリアンデッキ上にてグリーンキャンペーンを行いました。

当日は、海の女王の2名を迎え、藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会実行委員を中心とした各団体からの参加者が、往来する人達に緑化推進PRチラシ3,000部と花の苗800株などを配布し、藤沢市みどり基金の募金活動を行いました。また、アトラクションとして「鶴沼正栄会」様による笛太鼓の演奏も行われました。

(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い

運営委員会事務局 記)



Greening Campaign

# 推進の集い

すいしんのつと

平成27年11月14日(土)

緑の重要性を改めて見直すとともに、藤沢の緑を守り育て、市民による「緑と花いっぱい運動」をさらに推進していくために開催している藤沢市緑と花いっぱい推進の集いも今回で34回目を迎え、約980名の来場者でにぎわう中、藤沢市民会館大ホールにて開催されました。

主催者、委員長、来賓あいさつの後、平成27年度「緑と花のまちづくり」の各表彰(緑と花いっぱい功労者・ポスターコンクール入賞者・学校花だんコンクール入賞者等)が行われました。

表彰式終了後のアトラクションでは、太田プロダクションからお笑い芸人に来ていただき、お笑いライブショーを開催し、大変な盛り上がりとなりました。

最後に工場等環境緑化推進協議会を中心としたお楽しみ抽選会が行われ、来場された方々に協議会所属事業所等から提供された景品を抽選でお渡しし、盛会裡に終了いたしました。

今回も皆様より数多くの景品・賞品の寄付をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会事務局 記)



# Member Introduction



## 株式会社佐賀鉄工所 藤沢工場

- 事業所名 株式会社佐賀鉄工所 藤沢工場
- 所在地 藤沢市弥勒寺130番地
- 代表者 代表取締役社長 坂田 潤一
- 事業所長 藤沢工場工場長 浦上 浩
- 事業内容 ボルト製造(主に自動車用)
- 創業 昭和13年11月(佐賀県佐賀市)  
昭和36年11月藤沢工場完成稼働

佐賀鉄工所は自動車用ボルトを専門領域として、国内では4工場、海外では4拠点(米国、中国、タイ、メキシコ)を構え、ボルトの製造販売を行っております。生産においては業界でも数少ない、素材から完成品となるまでの全工程を自社内で行う「一貫生産方式」を採用し、品質の保証に繋がっています。特に当社の主力製品である自動車のエンジン部分に使用されるボルトは高い強度とマイクロ単位の精密さが要求されます。業界屈指の開発・試験設備で高品質の製品を提供し世界の自動車産業を支えています。また、現在では環境に配慮し強度を保ちつつ熱処理製造工程を省いた非調質ボルトの開発にも取り組んでいます。

当社の歴史は、昭和13年に軍指定の砲弾工場として大砲の弾を造ることからスタートし、昭和18年には海軍航空機用の精密ねじの製造を始めましたが、戦後、昭和21年からは民需に転換して農機具や国鉄(現JR)向けに製品を提供していました。

昭和28年よりヘッダーによる六角ボルトの製造を開始し、昭和30年に東京と大阪に代理店会を設置して全国的な販売を進め、その後、自動車メーカーとの直需を強化するために昭和36年11月に国内で2番目の工場として当藤沢工場が開設されました。現在、国内では九州の佐賀県以外にある唯一の製造工場となっています。

当藤沢工場のロケーションが湘南の海に注ぐ柏尾川流域に立地することから、緑豊かなこの美しい藤沢の景観と環境を守るの、この地で事業をさせていただいている企業の使命であると認識し努めてまいります。



## 協同油脂株式会社 本社・R&Dセンター

- 事業所名 協同油脂株式会社 本社・R&Dセンター
- 所在地 藤沢市辻堂神台2-2-30
- 代表者 代表取締役社長 山崎 雅彦
- 事業内容 グリース、金属加工油剤、その他潤滑油剤の  
研究・開発、製造、販売
- 創業 昭和11年1月

当社は辻堂、今の神台公園のあたりで1947年3月に工場を操業開始しました。

その後辻堂駅前の再開発により、現在の地にR&Dセンターを建設し、あわせて2007年に本社も移転してまいりました。

当社はグリース・金属加工油剤の開発・製造・販売を行っている潤滑剤の専門メーカーであり、特に、グリースの国内シェアはNo.1です。当社の製品はあらゆる産業に使用されており、普段目に付きませんが、なくてはならないものです。例えば、身近なところではエアコン、自動車の様々な部品、パソコン、新幹線の主電動機にも使用されています。また宇宙の衛星にも採用されるなど様々な箇所で活躍しております。また、国内ばかりではなく海外でもご使用いただいております。それらの製品を開発しているのが辻堂のR&Dセンターです。辻堂で開発されたグリース・金属加工油剤が世界でご愛用いただいております。

当社製品は、様々な部品の摩擦を低減させます。例えば自動車の燃費削減などエネルギー消費改善など微力ではありますが貢献できるものと考えます。

辻堂にある本社・R&Dセンターは、周辺環境に配慮した構造になっております。外構・植栽・色彩については、藤沢市景観部会のご指導をいただいております。ケヤキ、オオシマザクラ、フジ等季節にあわせた植栽を行っております。

また駐車場脇には本ではなく、酒匂川の堤に植えたことされる、松の苗木を持った「二ノ宮次郎」像が見守っていてくれます。



## 公園紹介

# にい はる 新治市民の森

JR横浜線十日市場駅に降り立ちマンション群を抜けると、突然目の前に緑あふれる谷戸の風景が広がります。田畑の畦道、木漏れ日の小道を辿ると、小川のせせらぎや鳥の声が聞こえ、農地の作物や道端の小さな花に目が留まり、のどかで懐かしい心地になります。この穏やかさは人の暮らしと自然とが身近にあることから来ているのかもしれません。

ここは新治市民の森。その自然は大都市横浜に奇蹟のように残されていました。その大切さに気づいた人々が見守って来たことが、市民の森開園へと繋がります。新治市民の森は平成12年横浜市内で最も広い約67haの市民の森として開園しました。今では年間



5万人に達する来訪者が訪れます。園路の整備や谷戸田の耕作、樹林の手入れなどが愛護会やボランティアの手で熱心に行われています。

この森が植物や生きものにとって大切な場所であることはもちろんですが、地域の伝統文化を生み出してきたことも忘れてはならないことです。隣接する新治里山公園は文化・自然体験の拠点として、市民と新治市民の森を結び、継承する活動を行っています。

開園の時に定められた新治憲法には、「この森を人間との新たな共生により生き生きと蘇らせ、未来の子供たちに引き継ぐことを合い言葉にする」と書かれています。

藤沢市自然生態専門員

原田敦子



## 編集後記

今年も【緑光】を発行出来ました事を関係各位のご協力に感謝致します。

機関誌「緑光」は昭和51年に第1号を発行して以来、毎年コンスタントに回数を重ねて今回で第70号を数えることとなりました。インターネット全盛の昨今ではありますが、カラー刷りのきれいな冊子を手にとってページを開いて見る時のあの感覚は、パソコンやスマホの画面で見ると数段良いと思っています。これは年齢を重ねた世代だけではないと思っていますが如何でしょうか。

これからも編集委員一同「継続は力なり」を合言葉に魅力ある機関誌作りに努めていきたいと思っています。

(ミネベア株式会社藤沢工場 長谷川 記)